

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和7年度学校評価 結果・学校関係者評価

達成度(評価)
A:十分達成できている
B:おおむね達成できている
C:やや不十分である
D:不十分である

学校名:佐賀市立三瀬小学校
1 前年度 評価結果の概要:校内研究では、少人数や個人でも学習を深めることができる学習スタイルの構築を目指し、全職員が研究授業を行うことができた。今後、交流する場の工夫を取り入れ、小中一貫教育の実践として研究を深めていく。
2 学校教育目標:ふるさとを愛し自信と誇りをもち、未来を拓く子どもの育成 「学び・こころをつなぐ小中一貫教育の実践」

3 本年度の重点目標
①9年間の学びをつなぐ小中一貫教育の取り組み
②志を高める教育の推進
③学力の向上(基礎・基本の充実)と自己教育力の育成
④一人ひとりを大切にする教育の推進
⑤豊かな心を育む教育の推進
⑥健やかな体を育む教育の推進

4 重点取組内容・成果指標 5 最終評価

(1)共通評価項目
重点取組:学力の向上, 心の教育, 健康・体づくり, 業務改善・教職員の働き方改革の推進, 特別支援教育の充実
具体的取組:フロッグ操作, 道徳の授業づくり, 心のアンケート, 児童のよさが発揮できる教育活動, 人権・同和教育の充実, 運動習慣の改善, 健康的な食生活, 交通安全教室, 生活習慣の定着, 業務効率化, 心身の健康, 特別支援教育
最終評価:達成度(A-D), 実施結果, 評価(A-F), 意見や提言

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目
重点取組:ふるさと三瀬への郷土愛の育成, 小中一貫教育
具体的取組:地域人材を活用し、系統的なカリキュラムを実践する, 小中合同行事の充実
最終評価:達成度(A-D), 実施結果, 評価(A-F), 意見や提言

5 総合評価・次年度への展望
・校内研究では、1人1台端末の活用を通して、児童一人一人の深い学びを実現するための授業実践をし、全職員が研究授業を行うことができた。今後も、1人1台端末の効果的な活用の在り方を探っていきながら、9年間の学びのつながりについて研究を深めていく。
・「基本的生活習慣の定着」「運動習慣の定着や望ましい食習慣の育成」「学力の向上」など、家庭と連携を図りながら、児童が自ら意識して、主体的に取り組む力を育成していく。
・地域や家庭、中学部と連携して、三瀬の地域・自然・地域人材を活用し交流しながら学習や行事を進めてきた。継続して、三瀬を愛する心を高めるとともに、コミュニケーション力、表現力の向上を目指していく。